

# 2023年 選抜実施要項公表！

共通テスト追試験は本試験の2週間後。  
不正行為の防止、受験生の安全確保について、取り組み策を例示。  
多様な背景を持つ者を対象とする選抜を記載！

旺文社 教育情報センター 2022年6月7日

6月3日、文部科学省は来春の大学入学者用の「選抜実施要項」を関係機関に通知、公表した。コロナ禍の下での入試は3年目。共通テストは本試験と追試験の間隔を、過去2年と同様に2週間と決定。追試験会場はコロナ感染状況などを踏まえ秋頃決める予定。不正行為の防止、受験生の安全確保については、これまでより記載内容を拡大して強化を求めた。また、2025年新課程入試時に示される予定だった「多様な背景を持った者を対象とする選抜」「障害のある志願者への合理的配慮の充実」も記された。時期を待たず適用できるとして反映された。

## ■2023年度 大学入学者選抜実施要項。共通テスト日程と、前年からの主な改訂箇所

- ◎共通テスト：本試験＝1月14日、15日／追試験1月28日、29日（追試験会場は秋頃決定予定）
- ◎不正行為の防止のために取り組むこと ⇒ 例示
  - ・不正行為にあたる行為、罰則を募集要項などで周知。通信機器の取り扱いを説明。
  - ・各大学の判断で、不正行為について警察に被害届を提出する場合があることを周知。
  - ・試験中の受験者の手の位置、目線など、巡視の際の観点を例示。巡視補助員の確保。
- ◎受験者が安心して受験に臨めるように取り組むこと ⇒ 例示
  - ・必要に応じて警察や交通機関などと連携。
  - ・警備要員を確保。試験場周辺・試験場内の十分な巡回に努める。
  - ・警察・消防等の協力の下、危機事象発生時のマニュアルなどの整備。
  - ・試験場周辺・試験場内で、不審者・不審物が見つかった場合の通報を受けられる体制。
  - ・自然災害・人為災害等で受験できなかった者の受験機会の確保など配慮。
- ◎多様な背景を持った者を対象とする選抜 ⇒ 新規記載
  - ・対象者
    - 「家庭環境、居住地域、国籍、性別等で進学機会の確保が困難と認められる者」
    - 「入学者の多様性確保の観点から対象になると考える者（例：理工系分野の女子）」
  - ・志願者の努力のプロセス、意欲、目的意識などを重視して評価する入試。
  - ・実施にあたっては、選抜の趣旨や方法について、社会に対して合理的な説明を行う。
  - ・知識・技能、思考力・判断力・表現力等を適切に評価。
- ◎障害のある志願者への合理的配慮
  - ・合理的配慮の内容決定に際し、障害のある志願者一人ひとりの個別ニーズを踏まえた建設的対話を行う。
  - ・相談窓口や支援担当部署などを設置。

2023年の共通テストも、前年と同様にコロナ対策として、追試験は本試験の2週間後に実施されることが決定した。近く、入試センターは共通テストの実施要項を公表する見通しで、そこでは受験生の共通テスト成績の各大学への成績提供の日程も示される。

現時点では国立大学協会、公立大学協会とも、共通テストの本試験と追試験の間隔は1週間として入試日程を組み、入試の「実施要領」で公表している。たとえば、一般選抜の出願期間は、1月23日～2月1日としている。実際、既に選抜要項を公表し、一般選抜の出願期間を1月23日～2月1日と記している大学もある。ただ、このスケジュールは、共通テストの追試験を受けることになった者にとっては非常にタイトだ。

昨年は「文科省が選抜実施要項を出す（共通テスト本試験と追試験は2週間開ける）→入試センターが共通テストの実施要項を出す→国立大学協会、公立大学協会が入試の実施要領を改訂」という動きだった。これを踏まえると2023年入試についても、国公立大の出願期間の改訂（昨年は締切を2日延長）、一般選抜の第1段階選抜の結果発表日、共通テストを課す総合型・学校推薦型選抜の合格発表日などの改訂の可能性がある。

今回の「選抜実施要項」には、もともとは2025年新課程入試のときに盛り込む予定だった「多様な背景を持った者を対象とする選抜」が時期を待たずに適用可能として記載された。家庭環境、居住地域、国籍、性別等の要因で進学困難な者や、大学が多様性確保のために対象と考える者を選抜する選抜として、総合型選抜や学校推薦型選抜と並列して示された。たとえば、児童養護施設出身者が対象の入試、エリア別での募集枠の設定、女子枠の設定などが考えられる。

既に実施、実施予定の一例として直近では、福岡県立大一看護で2022年入試から「全国児童養護施設推薦特別選抜」を実施。2023年入試から名古屋大一工（電気電子情報工、エネルギー理工）の学校推薦型選抜で女子枠が設定。芝浦工業大は2023年入試から「公募制推薦（女子）」の募集を全学部・全学科に拡大（2022年は工学部のみ）などがある。

(2022.6 加納)